

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0972700330		
法人名	社会福祉法人 二宮会		
事業所名	グループホームさくら		
所在地	真岡市石島463		
自己評価作成日	平成27年11月	評価結果市町村受理日	平成28年2月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.t-kicenter.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 栃木県社会福祉士会
所在地	宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ3階 (とちぎソーシャルケアサービス共同事務所内)
訪問調査日	平成27年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>田園風景に囲まれ静かな環境の中活動(散歩、農園)を通し楽しみ、生きがいの持てる生活を送っている。一人一人の生活のリズムに合わせ、要望希望に添って、利用者全体の生活が送れるよう心掛けている。併設施設の連携により、行事等も充実している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所は旧二宮町で田園地帯に囲まれた静かな環境に位置しており、同法人の特別養護老人ホームが併設されている。 ・事業所内に農園があり、利用者が収穫した新鮮な野菜が食卓で味わうことが出来る。 ・幼稚園や中学校との交流があり、福祉の啓発・人材育成においても貢献している。散歩中にゲートボール場のゴミ拾いをするなど、地域のための活動をしている。 ・管理者や主任は、職員の意見を聞き、個々の職員の持ち味を理解し働きやすい職場環境への取組がある。また経験の長い職員が多く、利用者に対して丁寧な対応を心掛けている。 ・職員は利用者の意思を尊重し、自宅での生活からの変化が少ないように支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全職員で考え、まとめ、グループホームから独自の理念をケア室に掲示し、共有して自覚意識し実践につなげています。	法人の理念から掘り下げた、事業所の取り組みや課題を掲げている。利用者に対して「個々を大切に」「自由に」という思いは、管理者を中心に職員にも浸透し実行されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入。地元の幼稚園や中学校・文化保存会との交流。施設行事での地域の方々との交流。また日々の散歩を通して近所・地域の方々と日常的に交流している。	地元の幼稚園や中学校から行事の招待があり、参加する機会を得ている。散歩中にゲートボール場のゴミ拾いをするなど、地域のための活動をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々との交流のなかで、利用者の実際を説明したり、意見を聞いたりアドバイス等をさせてもらい、出来ることがあれば介護に活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、開催。利用者の状況や活動の報告をすると共に話し合いを行っている。	運営推進会議は、地域の方や行政の職員、利用者や家族の参加で事業所内のリビングで開催されている。管理者は参加者の意見は出来るだけ取り入れ、事業所をより良くする姿勢が見られる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話連絡や出向いて現状報告し、協力依頼している。	市町村には事業所としての考え方や実態を報告しており、連携が行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケア室、外に掲示し、部署会議において勉強会や話し合いを行い、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	日中は玄関の施錠はせず、自由に散歩できる。利用者の外出したい気持ちを理解して、職員は身体拘束をしないケアの共有認識が図られている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	部署会議において勉強会や話し合いを行い、虐待防止の徹底に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行い制度について学び、施設内にパンフレット(成年後見制度)を提示し、必要時に活用できるよう努めている。関係機関より助言をもらっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。契約、解約時、共に家族二人以上に同席して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や家族会議にて、意見や要望を頂くようにしている。運営推進会議・職員会議にて報告し、それらの意見を元に行事・運営等に反映している。月一回家族への状況報告書に体調記載し返答頂いている。	毎月、利用者の状況を紙面にて家族に伝えている。また、年3回家族会議が行われており、そこで家族からの意見を得ている。また、運営推進会議でも家族の意見を聞く機会を得ている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や、朝・夕のミーティング等日常的に現場の意見を聞き検討し、可能な事より行っている。	管理者や主任は職員からの意見や思いを、日常的に聞くようにしている。その意見を事業所内で、出来ることは行い。出来ないことは法人全体で取り組めるように努力している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の職種に応じて、グループホーム連絡協議会、研修会・勉強会に積極的に参加し勉強していくことを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム連絡会議等に参加し、意見交換や勉強会の機軸があり、サービスの質を向上させていく取組みをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の話や表情、態度等、本人が困っている事・不安、要望等に耳を傾け、気持ちを受け止め、安心出来る関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接等にも立ち会って頂き、状況を伺い、気持ちを受け入れ、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	適切なサービスが受けられるよう、本人・家族の話をよく聞き、必要としている支援を見極め、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活の場であることを理解し、本人の能力・個性を理解し、共に協力し支えあい過ごしていける関係に努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡を取り合い、支えあえる関係に努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力で馴染みの床屋・お店(食事・買い物)に行ったり、併設施設の知人(元入所者)に会いに行っている。知人のボランティア・家族(子供・兄弟)との交流の継続支援に努めている。	昔から利用している床屋や馴染みの料理屋、衣料品店などに家族の協力を得て出かけている。知人との手紙のやりとりなども行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係の把握に努め、ホールでの交流(お茶・食事・テレビ視聴)・行事・レクリエーション・活動等で関わりを持ち、孤立せず支え合える関係作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、情報提供や相談に耳を傾ける等、支援に努め、家族と連絡をとりあっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの意向・希望にそった支援に努めている。また、家族からも話を聞いて検討している。	本人の個性や暮らし方の意向を聞いて、本人が過ごしやすいように支援している。言葉による表現が難しい利用者には、限られた表現を見逃さず、支援にあたっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人のペースがこれからも継続できるよう、面接時や契約時・家族の面会時に生活歴や暮らし方・サービス利用の経過等うかがい把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	暮らしの中で、会話・表情・行動から心身の状態や潜在能力を見極め、現状把握し、日誌等に記録し全職員が共有出来るよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1回のモニタリングや3ヶ月に1回又は必要に応じケース会議を実施し、現状・課題を話し合い、本人・家族・関係者等の意見を反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のモニタリングから、必要時や状況の変化に応じケース会議を開き、情報を共有し現状に即した介護計画書を作成している。	関係者個々の意見を取り入れて介護計画を作成していますが、本人や家族、必要な関係者が同じテーブルで共に話し合うための会議の開催を期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌・ケース記録・介護経過記録を記入し、状況の変化に応じ話し合い、職員間で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設施設があり利用者や家族の状況・要望に応じ相談・協力を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の商店・道の駅・公園・神社・床屋・歯医者・皮膚科等へ外出している。訪問ボランティアの受け入れや近所の方々との触れ合いに努め、豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、協力病院や専門の医療機関と協力し、適切な医療を受けられるよう協力体制を整えている。	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診ができるよう支援している。家族の協力を得て、馴染みの歯科医院にも継続して受診している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設施設より看護師の毎週月曜日の巡回や相談、助言を得て、適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。また、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	積極的に情報提供し、家族・医療機関と連絡を取り合い、医療機関との関係作りに努めている。尚毎週2回の医師の来荘時、体調関係を相談・助言を頂いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に本人・家族等と重度化や終末期のあり方について話し合いを持ち、要望の確認とホームで出来ることを説明し、理解が得られるよう努めている。常に家族に状況を報告し、医療機関・看護師と共に支援に取り組んでいる。	重度化した場合は、段階ごとに家族、医療機関、ケア関係者と意向を確認し、対応方法の共有を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内部研修やミーティング等で十分な対応ができるよう努めている。緊急時の対応マニュアルを、ケア室に掲示している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防本部・二宮分署との協力の元、定期的に避難訓練や消防訓練を行っている。	スプリンクラーの設置や備蓄の整備がされている。法人全体の緊急連絡網も作成され、災害時に応援を呼べる体制になっている。事業所の駐車場にスピーカーを設置し災害の際に放送が流れ、地域の人へ協力が得られるように整備されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を傷つけない支援・介護をさりげなくしている。個別対応や環境にも配慮しプライバシーが損なわれないよう努めている。	職員は、一人ひとり利用者に配慮した丁寧な言葉掛けを行っている。	トイレがカーテンで仕切られているため、プライバシーに配慮した整備を期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	信頼関係の構築に努め、本人の思いや希望を気軽に表したり、自己決定が出来るような信頼関係に努め支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを尊重し、日々希望にそって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい服装・髪型が出来るよう柔軟に支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の物や好みの物を献立に取り入れている。農園で採れた野菜も献立に入れておいしく頂いている。食べたい物の希望を取り毎月1回昼食・おやつを利用者と一緒に手作りし楽しんでいる。個々の力量に合わせ、下膳等積極的にされている。	事業所内に農園があり、利用者と共に収穫した旬の野菜が料理に添えられ、季節を食で感じる事が出来る。職員も一緒に食事をし、同じ物を楽しく美味しく食べている。嗜好調査をして、出来るだけ利用者の好みのものを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせた食事量や形態を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な方には、食事後の口腔ケアの声掛けや見守り、必要に応じて介助等の支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表において、個々の排泄のパターンを把握し自立に向けた支援をしている。	介助が必要な利用者には、自尊心に配慮して声掛けし、トイレに誘導している。一人ひとりの排泄のパターンを把握して、なるべくトイレでの排泄介助を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	本人の生活習慣の見極めや便秘の原因を探り、食事量・水分量・運動等で予防に努めている。場合によっては、医師、看護師に相談し助言を受けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて個々にそった入浴支援をしている。又しょうぶ湯やゆず湯・入浴剤などにより楽しめるように配慮している。農作業の後にも入浴を行っている。	近所から頂いたゆずなどをお風呂に入れ、楽しい入浴の時間になるように工夫している。入浴の嫌いな方にも、気分を損ねない入浴の支援が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の適度な運動等に心掛け、生活リズムを崩さないようにして、室内環境にも配慮している。個々の睡眠パターンの把握にも努め支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋・申し送りにて確認し服薬支援に努めている。状態の変化に対しては看護師・医療機関との連携により、治療や服薬調整に活かしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活経験や力を活かした、レク、行事、趣味、家事仕事・農園作業・散歩の他、嗜好品や楽しみ等で気分転換を支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族と共に外出されたり、公園・道の駅・五行川河川敷へ外出し、四季の花を楽しんでいる。スーパーでは手作りおやつ・昼食会の食材の買い物を楽しんでいる。近所の数箇所のコースを日々積極的に散歩し、希望時は職員と一緒に買い物に出かけている。また状況にそった個別の外出支援も実施している。	散歩や近隣のスーパーへ買い物に出かけ、顔なじみの人と交流が得られている。法人のリフト車を使用し地域、学校の行事に参加している。また事業所で作った作品を見学に、出展先に出掛けることがある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や能力に応じ、個人所有や預かり等があり、いつでも自由に使ったり所持したりできる。本人の希望があれば、説明しお金を預かり購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは自由であり、本人の希望に添い支援している。家族から手紙が届くこともある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間を清潔に保ち、季節に応じた花や飾り物を配置、また農園で採れた野菜を飾ったり季節感を取り入れ、居心地良く過ごせるよう工夫し、明るい色の物を選択している。	天窓から光が入るため事業所内は明るい造りとなっている。リビングには、事業所の手芸クラブで作ったロールピクチャーが飾られている。日めくりカレンダーや時計の位置も利用者目線になっており、日時を意識することが出来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	イス・長イス・ソファ・テーブルを用意し一人ひとりが思い思いの場所で自由に過ごせるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人・家族様との相談で馴染の家具や好みの物を持ち込んで頂き、居室環境の工夫を行っている。	居室は本人家族の意向を聴きながら、自由に家具等を揃えることが出来る。利用者の居室は和式となっており、自宅からの変化が少ないようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見やすく大きな文字の暦や馴染みやすい時計を目につくところへ設置。移動しやすいよう空間への配慮・各所に手すりを設置。トイレ・居室の場所も分かりやすいよう工夫している。		